

## デザインに係る意見

### 1. 基本方針

・ 水産資源ではなく、「持続的な水産資源管理」や「持続的な海洋生物資源管理」という言葉を用いたほうがSustainable fisheries managementの意味合いが強まる

→後段に海洋生態系の保全等を併記しているのでよいのでは

・ 生態系保全と水産資源管理の順序が逆ではないか

→IUCNへの回答書でもこの順序であり、この順序でよいのでは

### 2. 記載項目

・ 「相関図」は「相関」ではなく「関連」ではないか

→「関連図」でよいのでは

・ 座長の示した関連図には生態系の保全と持続的漁業をメインにしつつも、多利用型ということでブランド化やレクリエーションなどが表現されていると受け止めている

・ 委員が改変したフローは、多利用型を意識からはずし、生態系の保全（その一部＝水産資源の管理）に絞って、モニタリングと点検評価のサイクルをより具体的に議論することが最初に求められるのかなとの考えから作成されている

・ 座長提案の関連図については、考えられるファクターをすべてあげ、その中から海域管理計画に具体化すべき流れを絞り込むことと理解

・ 委員の指摘するように生態ピラミッドの流れを見据えながら、関連図をブラッシュアップすることが必要

### 3. 水産資源の保護・管理

#### 保護・管理の対象について

・ 「水産資源」だけでなく、水産に利用されていない生物も含めて「海洋生物」では

#### 基本的な考え方

・ 「資源の維持培養」の「培養」という言葉の意味が分かりにくい

→「維持培養」に代えて「保護増殖」を用いる方が明確

・ 漁業関係法規の推進だけでなく「生物多様性条約」「自然公園法」等の考慮も必要ではないか

→国立公園等に関する法規は漁業関連法規にはかかれておらず、必要では

・ 「順応的多魚種利用型漁業」の意味が分かりにくい。造語なら解説が必要

→環の国会議で使われている「順応的生態系管理」でよいのでは

#### 主要魚種の保護管理（スケトウダラ）

・ TAC設定による管理ではMSY概念は非実用的という意見が多く、こだわる必要はないのではない

→MSYについては非現実的と考えている人が多い。根室海峡のスケトウダラの場合、本来のMSYを達成することが非現実的であり、MSYの算出そのものが不可能だという考え方もある

→MSYの算出が不可能というよりむしろ未知と考えるのが妥当

→スケトウダラの「TAC設定による管理」の説明文として、TAC法（海洋生物資源の保存及び管理に関する法律）第3条第3項の表現を単純に引用したもので、「最大持続生産量」について特に思い入れや意図はない

### 主要魚種の保護管理（サケ類）

- ・ 河口付近等におけるサケ・マス採捕の禁止は現行法の漁業規制の範囲（500～1000m）でよいか
- ・ マスは正確に「カラフトマス」及び「サクラマス」と記すべきでは
- ・ 回遊ルート及び系群構造を明らかにすべき

数年後に結論が出るような調査・検証計画を帰山委員に考えて頂きたい

## 4. 海棲ほ乳類・海鳥類の保護

### 基本的考え方

- ・ IUCNへの回答では抽象的にしか書いておらず、海洋生態系の保全等に再構成した方が自然ではないか

### 保護管理等

- ・ 海鳥類の調査として混獲の実態調査が必要ではないか。「計画のデザイン」と「海洋因果関係図」の中に海鳥類混獲調査を入れるべき
- ・ ケイマフリ等の海食崖で繁殖する海鳥類が海洋レクリエーションの影響を強く受け始めており、保護対策を海域管理計画の中でも位置付ける必要がある
- ・ 「因果関係図」の中の「海洋レクリエーションの適正化」と「海鳥・海ワシ類の保護対策」を関連づける必要がある

### 今後の取組

- ・ 今後の取組にモニタリングだけでなく、「野生鳥獣と漁業が共存する方策」を明確にだすべき

担保と検討している方策についてもある程度種別を書くべき

## 5. 海洋生態系の保全

### 基本的考え方

- ・ 「生態系の保全」のベースは「生物多様性」と「物質循環」がベースになるので、生態系の構造と機能を含める必要がある
- 委員の指摘通り再検討が必要
- ・ 知床の特徴を明確に際だてているアイスアルジーから生態系に注目し把握することも加えて生態系の維持管理を明確に提案しているのでは
- ・ レクリエーションについては「利用適正化検討会議」と議論を共有して、こちらでも検討し、意見を述べるべき

### 保護・管理

- ・ 「生態系」の保護管理を前提とするなら「生物多様性」の評価と生態系の構造（生態ピラミッド、食物網等）を考慮しなければならない
- ・ 海鳥類調査は「海棲哺乳類・海鳥類保護」の課題では

### 今後の取組

生態系管理に順応的管理を持ち込むのであればフィードバック機能が必要ではないか